

これからの国際社会で求められる知識・技能を身につけ、多様性を認め合う世界で他者と関わりながら生きる能力を習得する

●英語科の目指す人間像

1	あたたかい人間になろう	周囲の人や地域社会に興味・関心があり、自ら課題や問題を発見・提示し、その解決に向けて <u>努力することができる</u> （学びに向かう力・人間性）
2	たくましい人間になろう	これからの国際社会で求められる <u>知識・技能を身につけることができる</u> （知識・技能）
3	おおらかな人間になろう	多様な思想・信条・人種で構成される世界を認め、他者との関わりの中で <u>自分のもつ能力を最大限発揮することができる</u> （思考力・判断力・表現力）

●各学年・科目ごとの大まかな内容と到達目標

三年生	英語コミュニケーションⅢ	教科書の題材を使い、また自身の問題意識から、世界の問題について自分の表現を加えながら読解・発信できるようにする。
	論理・表現Ⅲ	パフォーマンステスト：教科書の題材を要約した上で、自己の意見を論理的に表出する(サマリー＋ロジカル・オピニオン)
	応用英語	1・2年次に学んだことを生かしながら、世界の諸問題に対して適切な表現ができる演習をする。論理的な表現方法の実践演習を継続する。
二年生	英語コミュニケーションⅡ	教科書の題材を使って、世界の問題について自分の表現を加えながら読解・発信できるようにする。
	論理・表現Ⅱ	パフォーマンステスト：教科書の内容を要約し、自己の経験と結びつけて意見を述べる(リテリング＋オピニオン)
一年生	論理・表現Ⅱ	1年次に学んだことを生かしながら、世界の諸問題に対して適切な表現ができる方法を学ぶ。論理的な表現方法の実践演習を加える。
	英語コミュニケーションⅠ	教科書の題材を元に、世界の問題について教科書の表現を使って読解・発信できるようにする。
	論理・表現Ⅰ	パフォーマンステスト：教科書の内容を相手に伝えるように表現する(レシテーション＋α)
		自己表現するために必要な文法事項や構文を教科書の表現で習得する。論理的な表現方法の基礎を学ぶ。

●卒業時までには獲得を目指す英語力

段階的な学び

	読むこと	聞くこと	書くこと	話すこと（やりとり）	話すこと（発表）
卒業時	日常的／社会的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握し、概要や要点を的確に捉えることができる	日常的／社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握し、概要や要点を的確に捉えることができる	日常的／社会的な話題について、意見や主張などを論理的に展開させた文章を書いて、伝えることができる	日常的／社会的な話題について、情報や考え、気持ちを伝え合うやりとりを、論理性に注意して続けることができる	日常的／社会的な話題について、情報や考えなどを標準的・論理的な表現を用いてまとめ、発表することができる
三年次	150WPM 以上で CEFR A2 に相当するパッセージを読み、その後の内容を問う問題に 70%以上正答できる。	前もって語彙の発音を練習した上で、CEFR B1 に相当するパッセージを聞いて、その後の内容を問う問題に 70%以上正答できる。	教科書で学習した文法事項を適切に理解しており、ある程度なじみのある内容であれば、80～100語で論理的な流れを意識した英文を書ける。	ある程度なじみのある内容や個人的に関心のある具体的なトピックであれば、ある程度の流暢さで簡単な英語を幅広く使い、順序立てた意見の表明や、情報の交換ができる。	事前に準備したメモ等の助けがあれば、馴染みのあるトピックや自分に関心のある事柄について、ある程度の流暢さで簡単な英語を幅広く使い、自分の感想や意見を順序立てて語る事ができる。
二年次	120～150WPM で CEFR A2 に相当するパッセージを読み、その後の内容を問う問題に 70%以上正答できる。	CEFR A2 に相当するパッセージを聞いて、その後の内容を問う問題に 70%以上正答できる。	教科書で学習した文法事項を適切に理解しており、ある程度なじみのある内容であれば、60 語～80 語で論理的な流れを意識した英文を書ける。	予想できる日常的な状況や教科書のトピックについて、簡単な英語で、自分の意見や気持ちをやりとりしたり、賛成や反対などの意見に理由を加えて伝えたりできる。	前もって話すことを用意した上で（自分に関連のある）身近なトピックについて、写真や絵、地図などの視覚的補助を利用しながら、教科書で学んだ一連の語句や文を使って、短いスピーチができる。
一年次	100～120WPM で CEFR A2 に相当するパッセージを読み、その後の内容を問う問題に 70%以上正答できる。	前もって語彙の発音を練習した上で、CEFR A2 に相当するパッセージを聞いて、その後の内容を問う問題に 70%以上正答できる。	教科書で学習した文法事項を適切に理解しており、ある程度なじみのある内容であれば、40～60語で英文を書ける。	前もって準備をし、個人的な（あるいはなじみのある）トピックについて、基礎的な語句や構文を使って簡単な質疑応答をすることができる。	前もって話すことを用意した上で、限られた身近なトピックについて、簡単な語や基礎的な句を限られた構文に用い、複数の文で意見を言うことができる。
評価とアセスメント	課題1、授業での活動の観察1 2 3、活動の振り返り1				
	全学年共通 WPM 診断2 3	AET による授業1 2 3、愛知教育大学学部生・大学院生・留学生との共同・協働学習2 3			
	定期考査2 3			パフォーマンステスト1 2 3 ネイティブスピーカーとのやりとり実践1 2 3	
	(外部指標(卒業時の目標)) 英検 2 級以上 GTEC 700～1050 点 TOEIC 450～550 点				

4 技能 5 領域 の 統 合 的 な 学 び

入学時に求める学力	初歩的な英語を読んで、書き手の意向などを理解することができる。60～80WPM で CEFR A1 に相当する文章を読み、内容を問う問題に 70%以上正答できる。	初歩的な英語を聞いて、話し手の意向などを理解することができる。CEFR Pre-A1 に相当する文章を聞いて、内容を問う問題に 70%以上正答できる。	初歩的な英語を用いて、自分の考えなどを書くことができる。学習した文法事項を適切に理解しており、なじみのある内容であれば、30～50 語で英文を書ける。	初歩的な英語を用いて、自分の考えなどを話すことができる。前もって準備をし、自分自身について、学んだ語句や構文を使って簡単な質疑応答ができる。
-----------	---	---	---	--